

第3回 静岡地域勉強会 議事録

開催日：2012年6月15日(金) 17:30 ~ 20:00

出席者：石井洋之、尾石昭夫、大石育三、上條正泰、北川裕章、高橋義久、武多信幸、皆川武弘、
宮角良介、渡邊耐三(敬称略) 荒井富美雄(議事録作成)

欠席者：赤堀三代治、池田浩敬、大鐘祥太郎、奥山良一、佐藤学、塩崎宏晃、野末泰弘、(敬称略)

議事内容：

1. テーマ

(1) B C A O 報告事項

指揮者養成講座の開講について説明しました。

(2) B C P 策定ガイドライン(高齢福祉施設)を参考に初動期の検証

参加者によりA, Bチーム2社の模擬会社を設定して、大規模災害発生時の初動期の対応(発災後30分以内)について検討しました。

A チーム

会社名：(株)ゴールデンケア(グループホーム)

設立：2002年6月15日、事業所：グループホーム4ヶ所(沼津×2、静岡×2)

資本金：1,000万円、代表：大石育三、売上げ：4億円、利益：3,000万円、

従業員：72名 営業内容：グループホーム

想定：駿河湾震源の地震 震度6弱 発生時間：2012年6月15日 2:00

津波到達時間 5分

今回は静岡の事業所で検証しました。海岸から5kmに立地しているが、津波の恐れがある。夜間の常駐人員は2名で1ユニット18名を担当している。2名の宿直者で発生後30分以内に出来る事が限られる中、入所者、けが人の有無確認、自動起動の安否確認(ANPIC)により施設付近の職員を招集、避難準備のため靴を履かせる。1~2階の入所者を3階、屋上へ避難させる。

事前の準備としては、津波想定を検証、招集職員の住居位置の確認、バイク、自転車を用意するなどの提案がありました。

B チーム

会社名：宮角工業(株)(自動車部品製造)

設立：1978年4月1日、事業所：本社 浜松市中区(米津浜工場、高丘本社工場)

資本金：5億円、代表：宮角良介、売上げ：15億円、利益：3,000万円、

従業員：200名 営業内容：自動車部品製造

想定：M8.0 震度7 発生時間：平日の16時00分

やるべきこと

負傷者対応：社員がケガをした。救出救護、応急手当、ケガ人搬送

安否確認：場内人員の安否確認、家族の安否確認、閉じ込め者有無の確認、

お客様の安全確保、社員を安全な場所へ避難

避 難 : 非常放送を流す。安全な場所へ誘導および点呼をとる。

対策本部の立ち上げ: 責任者の確認、経営層の所在確認、体制の構築、役割分担の確認

情 報 の 収 集 : 地震情報、テレビ、ラジオからの情報収集、インターネット回線確保、建物被害確認、機械設備の被害確認、完成品の被害状況確認、米津浜工場との連絡、製造ライン停止の判断、通信手段の確保、従業員の帰宅、在社指示の判断、従業員への方針伝達、顧客への広報、非常電源立ち上げ、社内システム使用可否確認

Aチームは夜間の発災で、対応する人員が少ない中での対応となり、事業所近隣に住んでいる職員を招集することが出来るようにすることが重要であると認識していました。

Bチームはやるべきことを 負傷者対応 ~ 情報の収集に仕分けして、それぞれのすべきことを書き出し、そのために事前にやるべきことの洗い出しをしました。また、16時発災で会社に留まるか、自宅に帰すかの判断も迫られていました。

次回は対策本部の体制確立後から1時間~数時間後について検証します。

2. 新規会員の紹介と次回の案内

新規入会した渡邊氏、武多氏の自己紹介と参加メンバーの自己紹介をしました。

次回は坂口氏(ALSOK)の講演を予定しています。

3. 次回の開催について

日時: 2012年7月20日(金) 17時30分~20時00分

場所: 静岡県男女共同センター あざれあ 4階 第2会議室

以 上